

科目名		看護教育学演習Ⅱ Nursing Education SeminarⅡ		担当教員 (研究室番号)		上田 貴子 (304)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目			選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否	
													遠隔授業	一部
科目 目的		看護教育に関連する研究論文のクリティークを通して、看護学教育の研究に必要な概念及び方法を具体的に修得する。												
ディプロ マ・ホリ ゾン (DP)	主要なDP	4. 看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。												
	関連する DP	5. 看護学の発展に寄与するための研究能力を修得している。												
到達 目標		1. 看護教育の関心分野に関する文献を系統的に検索することができる。 2. 看護教育関連の文献の内容を理解し、概要を報告することができる。 3. 看護教育関連の文献について批判的に論じることができる。 4. 看護教育関連の研究に必要な基礎的な概念を説明することができる。 5. 看護教育関連の研究方法について述べることができる。												
成績評価方法 (基準)		発表原稿 (50%)、研究論文クリティーク (50%)												
教科書		特に指定しない。												
参考書等		・ 牧本清子, 山川みやえ編著 (2020) . 研究手法別のチェックシートで学ぶ よくわかる看護研究論文のクリティーク 第2版, 日本看護協会出版会. ・ 富田美加, 松本直子 (2021) . 看護にいかす文献検索入門—学び続けるための情報検索スキル—, 中央法規出版.												
受講者への メッセージ		主体的な取り組みを期待します。												
備考		看護教育学演習Ⅲと連動して開講する。												
回	学習項目				学習内容				主担当 教 員	授業 方法				
1回	ガイダンス 研究論文クリティークの方法				講義の進め方、概要 研究論文クリティークの方法				上田	対面 (講義)				
2回	研究論文のクリティーク①				【研究論文のクリティーク：1回】 ・ 文献紹介：この論文を選んだ理由及び文献の概要 ・ 論文クリティーク：論文のクリティークと根拠となる基礎知識 ・ 質疑応答（参加者全員） ・ 本日のまとめ 【研究論文のクリティーク：2回～7回】 ・ 前回積み残した課題について調べた結果を報告する（5分） ・ 文献紹介：この論文を選んだ理由及び文献の概要 ・ 論文クリティーク：論文のクリティークと根拠となる基礎知識 ・ 質疑応答（参加者全員） ・ 本日のまとめ 【研究論文のクリティーク（英語論文）：8回～13回】 ・ 前回積み残した課題について調べた結果を報告する（5分） ・ 文献紹介：この論文を選んだ理由及び文献の概要 ・ 論文クリティーク：論文のクリティークと根拠となる基礎知識 ・ 質疑応答（参加者全員） ・ 本日のまとめ 【共通】 ・ 研究論文は、1週間前までにTeamsに提出してください。 ・ 英語論文は、2週間前までにTeamsに提出してください。 ・ 発表原稿（文献紹介）は、3日前までにTeamsに提出してください。				上田	ライブ 配信				
3回	研究論文のクリティーク②								上田	ライブ 配信				
4回	研究論文のクリティーク③								上田	ライブ 配信				
5回	研究論文のクリティーク④								上田	ライブ 配信				
6回	研究論文のクリティーク⑤								上田	ライブ 配信				
7回	研究論文のクリティーク⑥								上田	ライブ 配信				
8回	研究論文のクリティーク⑦（英語論文）								上田	ライブ 配信				
9回	研究論文のクリティーク⑧（英語論文）								上田	ライブ 配信				
10回	研究論文のクリティーク⑨（英語論文）								上田	ライブ 配信				
11回	研究論文のクリティーク⑩（英語論文）								上田	ライブ 配信				
12回	研究論文のクリティーク⑪（英語論文）								上田	ライブ 配信				
13回	研究論文のクリティーク⑫（英語論文）								上田	ライブ 配信				
14回	研究論文のクリティーク（統合）				これまでの演習で疑問として残っていること（研究手法、クリティークの視点等）についてまとめ、各自追加で学修した結果を共有する。				上田	ライブ 配信				
15回	まとめ				演習Ⅱを通じて学修したこと、後期の研究計画書作成に向けて、現時点の構想を共有する。				上田	対面 (演習)				